

事務事業コード	743117	事務事業名	土地改良区運営支援事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	管理グループ
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	2411
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年度~)
	項	1	農業費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	5	農地費		霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	743117				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
霧島市内の4土地改良区(十三塚原土地改良区974人・竹子土地改良区231人・宮内原土地改良区2012人・福山町土地改良区538人)に運営費補助として補助金を交付している。 十三塚原土地改良区4,919,000円、竹子土地改良区3,164,000円、宮内原土地改良区688,000円、福山町土地改良区2,138,000円(市の活動) 土地改良区に補助金を支出するための手続(交付申請書の受付、交付決定、実績報告書の受付、補助金交付)を行う。 (土地改良区の活動) 農業用施設の維持管理、賦課金の徴収 *土地改良区とは、土地改良法に基づき設置された団体で、土地改良区内に農地を保有する農家を組合員として構成されている。								
補助金・負担金の交付先		土地改良区	補助金の対象経費		土地改良区の運営及び活動に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	補助金交付団体数	団体		4	4	4	4	
イ								
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	土地改良区の組合員	組合員数	人	4,207	3,755	3,755	3,755	
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	組合員の賦課金が軽減される	歳入予算に対する賦課金の割合	%	32	42	42	42	
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	経営体質が強化される	認定農業者数	戸	318	316	***	***	
イ								

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
		24年度(決算)	25年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	12,119	10,909	主に大規模な事業(圃場整備事業、かんがい事業)が導入され、維持管理の部門が必要となったため。土地改良区の整備に関しては、国・県・市及び受益者負担によって行われた。4改良区に関しては施設の規模が大きく、市保有の施設の維持管理も含めて改良区が行うため、補助金を交付することとなった。	事業の完成から年月が経ち、施設の老朽化並びに管理者の高齢化に伴い以前より管理に苦慮している。平成19年4月1日、県からの権限移譲により、土地改良区に対する指導権限が市に移譲された。
	補正予算額				
	予算合計	12,119	10,909		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	12,119			
支出合計	12,119			受益者(区域内の農地所有者)からは、できるだけ改良区の賦課金を上げずに安定した用水が確保できるように要望されている。土地改良区からは、用水路には住宅からの排水が流込むために水質が悪化、有機農法を取り入れられない等、農作物の品質に影響があるとの意見もある。	特になし

事務事業 コード	743117	事務 事業名	土地改良区運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	十三塚原土地改良区									974人	補助金	4,919	補助金	4,919	補助金	4,919
											自主財源	70,799	自主財源	64,713	自主財源	64,713
											合計	75,718	合計	69,632	合計	69,632
										自主財源率	94%	自主財源率	93%	自主財源率	93%	
2	竹子土地改良区									231人	補助金	3,164	補助金	3,164	補助金	3,164
											自主財源	13,480	自主財源	11,324	自主財源	11,324
											合計	16,644	合計	14,488	合計	14,488
										自主財源率	81%	自主財源率	78%	自主財源率	78%	
3	宮内原土地改良区									2,012人	補助金	688	補助金	688	補助金	688
											自主財源	25,556	自主財源	22,005	自主財源	22,005
											合計	26,244	合計	22,693	合計	22,693
										自主財源率	97%	自主財源率	97%	自主財源率	97%	
4	福山土地改良区									538人	補助金	2,138	補助金	2,138	補助金	2,138
											自主財源	4,273	自主財源	2,545	自主財源	2,545
											合計	6,411	合計	4,683	合計	4,683
										自主財源率	67%	自主財源率	54%	自主財源率	54%	
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
											合計		合計		合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										3,755人	補助金負担金合計	10,909	補助金負担金合計	10,909	補助金負担金合計	10,909
											自主財源合計	114,108	自主財源合計	100,587	自主財源合計	100,587
											自主財源率	91%	自主財源率	90%	自主財源率	90%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額	全国	九州	県	その他											
1																
2																
3																
4																
5																
合計																

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	12,119	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	12,119	第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	743117	事務事業名	土地改良区運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	土地改良区の円滑な運営と財政の健全化を図ることは、農業者の負担を緩和させることとなり、経営体質の強化に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	多くの農業用施設の維持管理や補修を行い、安定的に農業用水の供給を行っているとともに、地域の環境保全も担っている等、公共性の高い組織であるため、その運営に関して補助することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	全ての土地改良区組合員を対象としており対象は妥当であり、組合員の経営安定に寄与するため意図も妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	現状において、土地改良区の円滑な運営と財政の健全化が図られている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	組合員(農家)の負担が増える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 土地改良区に対する支援事業は、本事業のみである。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	高齢化により組合員が減少し、運営予算も厳しい状況ではあるが効率的な運営を指導していく中で、H24年度より市補助金の削減を行っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金申請を受付審査の上、補助金交付を行うために必要な人件費である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	土地改良区に属していれば受益機会は公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	組合員の高齢化に伴い、厳しい運営状況を強いられているが効率的な運営を指導していく中で事業費削減の対応を検討していく。	

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
土地改良区への運営支援の実施で各区域内農業用施設の維持管理等が適切に行なわれ、安定した農業経営が期待できる。	土地改良事業の円滑な運営と財産管理の健全化を図るため土地改良区を支援していく。

事務事業コード	743214	事務事業名	農業・農村活性化推進施設等整備事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地第2グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2423
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 年度
	款	6	農林水産業費		
	項	1	農業費	根拠法令・条例等	
	目	6	農道及び用排水路整備		
コード	743214				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要 通常の補助事業(国県補助)の採択要件に合わない小規模な事業を県からの補助(事業費45%)を受け農業用施設の改良や補修を行う事業。 採択要件: 上限4,000万円、受益面積5ha以上で20ha未満(中山間地域は1ha以上)。農道整備の場合は延長おおむね100m以上、幅員3m以上。	② 事業に対する意見・要望(誰からの意見か明記) 当該施設は用排水路であるが、現況が雑石積みであるため老朽化が著しく、漏水や浸食崩壊があり、営農や維持管理に多大な労力を費やしている。整備することで、維持管理費の節減、生産性の向上を図る。	③ 事業に対する議会から出された意見
--	---	--------------------

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 集落・地区住民	農業施設の機能改善が図れる。	整備することで、維持管理費の節減、生産性の向上を図る。
イ		

全体計画 (H24~)	平成23年度までの実施状況	平成24年度実績	平成25年度計画
かんがい排水(水尻原地区) L=170m (受益面積:9.0ha・受益戸数:31戸) かんがい排水(下松川地区) L=200m (受益面積:3.8ha・受益戸数:15戸) かんがい排水(越地区) L=159m (受益面積:20.0ha・受益戸数:76戸)		かんがい排水(水尻原地区) L=170m (受益面積:9.0ha・受益戸数:31戸) かんがい排水(下松川地区) L=200m (受益面積:3.8ha・受益戸数:15戸) かんがい排水(越地区) L=159m (受益面積:20.0ha・受益戸数:76戸)	
平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度以降計画

(2)事業費

単位:千円

単位:千円

全体計画 (H24~)			
	単独	補助	合計
国			
県		11,925	11,925
地方債			
辺地債			
過疎債			
合併特例債			
その他			
一般財源	14,575		14,575
計	14,575	11,925	26,500

	H24年度決算(A)	H25年度計画(B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額				
補正予算額			---	---
予算合計				
国庫補助金				
県支出金	11,925		▲ 11,925	100% 減
地方債				
その他				
一般財源	14,575		▲ 14,575	100% 減
支出合計	26,500		▲ 26,500	100% 減

支出合計に対して予算が不足しています。財務シートを確認してください!

単位:千円

事務事業コード	743214	事務事業名	農業・農村活性化推進施設等整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区分	全体計画 (H24～)			平成23年度までの 実施状況			平成24年度 (実績)			平成25年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	かんがい排水(水尻原地区) L=170m(受益面積:9.0ha・受益戸数:31戸) かんがい排水(下松川地区) L=200m(受益面積:3.8ha・受益戸数:15戸) かんがい排水(越地区) L=159m (受益面積:20.0ha・受益戸数:76戸)						かんがい排水(水尻原地区) L=170m(受益面積:9.0ha・受益戸数:31戸) かんがい排水(下松川地区) L=200m(受益面積:3.8ha・受益戸数:15戸) かんがい排水(越地区) L=159m (受益面積:20.0ha・受益戸数:76戸)						
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費	330	270	600				330	270	600				
消耗品費	192	158	350				192	158	350				
燃料費	138	112	250				138	112	250				
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	385	315	700				385	315	700				
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	13,860	11,340	25,200				13,860	11,340	25,200				
16 原材料費													
17 公有財産購入費													
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金													
23 償還金・利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	14,575	11,925	26,500				14,575	11,925	26,500				
財源内訳	国												
	県		11,925	11,925				11,925	11,925				
	地方債												
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	その他												
一般財源	14,575		14,575				14,575		14,575				
計	14,575	11,925	26,500				14,575	11,925	26,500				
補助率	国	—			—			—			—		
	県	—			—			—			—		
補助基本額	—			—			—			—			

平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算		第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計		第3回		第6回			

単位:千円

事務事業 コード	743214	事務 事業名	農業・農村活性化推進施設等整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区 分	平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度 (計画)			平成29年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量												
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料												
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費												
16 原材料費												
17 公有財産購入費												
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金												
23 償還金・利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計												
財源内訳	国											
	県											
	地方債											
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債											
	その他											
一般財源												
計												
補助率	国											
	県											
補助基本額												

事務事業コード	743214	事務事業名	農業・農村活性化推進施設等整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	改良を必要とする農業用施設の機能改善が図られることで、効果的な生産を行うことができ、生産基盤の機能が確保されることから、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなせば市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設は市が保有する施設であり、維持管理や補修等を市が行うことは妥当。(市民(=消費者)が安心安全な農産物の提供を受ける為に農業を守る必要がある。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている	県の財政悪化に伴い事業採択率が低下しており対象を拡充することは困難である。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	農業用施設の機能改善に係る費用を市単独で負担することとなり、市の財政負担が大きくなる。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	公共事業として、適切に積算されコスト削減対策も加味された事業であるので削減の余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事務手続き及び工事に伴う設計施工管理すべてを最低人員で行っており、また県の補助事業であることや先の業務を正職員以外の職員等では対応できない。但し、設計に関しては委託を一部行っている。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	要望箇所及び施設の老朽化が著しい箇所等で市全体の緊急順位を勘案し、県への事業採択要望を行っている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	要望の次年度に事業実施ができる事業として重宝されていたが、県の財政事情から状況が採択件数が少なくなっている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<p>このような事業により、県のモデルになるような農業の生産性や基盤の安定を上げていくことが課題である。</p>

事務事業コード	743279	事務事業名	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 霧島田口地区	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2421
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 28 年度
	款	6	農林水産業費		
	項	1	農業費	根拠法令・条例等	なし
	目	6	農道及び用排水路整備事業費		
コード	743279				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
豊かな住みよい農業農村を目指すことを目的とした本事業を活用し、国庫補助及び県補助により市の財源負担の軽減を図りながら、地域住民からの要望を勘案し、効率的な生産基盤等の整備を行うために、平成24年度の事業採択により開始した。	農村環境基盤の整備を行う本事業の導入を他の地域住民からも強く要望されている。	

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 農業用施設	農業用施設の機能保全	効率的な生産を行う基盤が整う。
イ 市民	市民の維持管理の軽減	市民の維持管理の軽減が図れる

全体計画 (H 23 ~ H 28)	平成23年度までの実施状況	平成24年度実績	平成25年度計画
用排水路工 L=1,170m 連絡農道 L=2,100m 測量設計委託		測量設計委託	用排水路工 L=300m 連絡農道 L=500m
平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度以降計画
用排水路工 L=300m 連絡農道 L=500m	用排水路工 L=300m 連絡農道 L=500m	用排水路工 L=270m 連絡農道 L=600m	

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H 23 ~ H 28)			
	単独	補助	合計
国		104,549	104,549
県			
地方債			
辺地債			
過疎債			
合併特例債			
その他			
一般財源		86,158	86,158
計		190,707	190,707

	H 24年度 決算 (A)	H 25年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額		32,346	32,346	増
補正予算額	20,843		---	---
予算合計	20,843	32,346	11,503	55% 増
国庫補助金	11,420	17,619	6,199	54% 増
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	9,421	14,727	5,306	56% 増
支出合計	20,841	32,346	11,505	55% 増

単位:千円

事務事業コード	743279	事務事業名	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 霧島田口地区	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区分	全体計画 (H 23 ~ H 28)			平成23年度までの 実施状況			平成24年度 (実績)			平成25年度 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	用排水路工 L=1,170m 連絡農道 L=2,100m 測量設計委託						測量設計委託			用排水路工 L=300m 連絡農道 L=500m		
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金		3,462	3,462					424	424		764	764
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費		681	681					397	397		71	71
消耗品費		509	509					365	365		36	36
燃料費		172	172					32	32		35	35
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費		64	64					20	20		11	11
通信運搬費		64	64					20	20		11	11
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料		20,000	20,000					20,000	20,000			
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費		158,500	158,500								29,500	29,500
16 原材料費												
17 公有財産購入費		4,000	4,000								1,000	1,000
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金		4,000	4,000								1,000	1,000
23 償還金・利息・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計		190,707	190,707					20,841	20,841		32,346	32,346
財源内訳	国	104,549	104,549					11,420	11,420		17,619	17,619
	県											
	地方債											
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債											
	その他											
	一般財源	86,158	86,158					9,421	9,421		14,727	14,727
計	190,707	190,707					20,841	20,841		32,346	32,346	
補助率	国	—		—								
	県	—		—								
補助基本額	—		—									

平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	
補正予算	20,843
合計	20,843

第1回		第4回 (9月)	20,843	第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

単位:千円

事務事業コード	743279	事務事業名	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 霧島田口地区	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区分	平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度 (計画)			平成29年度以降 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	用排水路工 L=300m 連絡農道 L=500m			用排水路工 L=300m 連絡農道 L=500m			用排水路工 L=270m 連絡農道 L=600m						
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金		758	758		758	758		758	758				
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費		71	71		71	71		71	71				
消耗品費		36	36		36	36		36	36				
燃料費		35	35		35	35		35	35				
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費		11	11		11	11		11	11				
通信運搬費		11	11		11	11		11	11				
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料													
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費		43,000	43,000		43,000	43,000		43,000	43,000				
16 原材料費													
17 公有財産購入費		1,000	1,000		1,000	1,000		1,000	1,000				
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金		1,000	1,000		1,000	1,000		1,000	1,000				
23 償還金利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計		45,840	45,840		45,840	45,840		45,840	45,840				
財源内訳	国		25,170	25,170		25,170	25,170		25,170	25,170			
	県												
	地方債												
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	その他												
	一般財源		20,670	20,670		20,670	20,670		20,670	20,670			
計		45,840	45,840		45,840	45,840		45,840	45,840				
補助率	国												
	県												
補助基本額													

事務事業コード	743279	事務事業名	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 霧島田口地区	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の機能保全が図られることで、効率的な生産基盤が整備される。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の整備・維持管理は市が行うべき業務であるため、公共関与は妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	昨年度より事業が開始し、今年度については要望額通りの交付を受けられる見込みである。当初通りの事業計画で推移していくと考えられる
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	農業用施設の整備が遅れることにより、営農意欲が損なわれ、農業生産が低下する。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	公共事業として適切であり、コスト削減も加味された事業であるため、削減余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計については一部委託を行っているが、事務手続き及び工事に伴う設計管理委託をすべて最小限の職員で行っているため、削減余地はない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業を実施する際に受益者に負担を求める事業でない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	24年度、設計委託が完了し、今年度より工事着手となるが、用地所有者の同意等もあり事業については、当初計画の通り施工できると考えられる。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	743212	事務事業名	農村振興総合整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地第1グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2421
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 31 年度
	款	6	農林水産業費		
	項	1	農業費	根拠法令・条例等	なし
	目	6	農道及び用排水路整備事業費		
コード	743212				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
豊かな住みよい農業農村を目指すことを目的とした本事業を活用し、国庫補助及び県補助により市の財源負担の軽減を図りながら、地域住民からの要望を勘案し、効率的な生産基盤等の整備を行うために、平成17年度の事業採択により開始した。	農村環境基盤の整備を行う本事業の導入を他の地域住民からも強く要望されている。	

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 農業用施設	農業用施設の機能保全	効率的な生産を行う基盤が整う。
イ 市民	利用者の安全確保	市民の安全が図られる。

全体計画 (H17~H31)	平成23年度までの実施状況	平成24年度実績	平成25年度計画
農業用排水施設 10地区 農道整備 4地区 農業集落道 4地区 自然環境・生態系 4地区 営農飲雑用水 1地区 市町村創造型整備 1地区	農業用排水施設 8地区L=1712m 農道整備 3地区L=995m 農業集落道 2地区L=1376.6m 自然環境・生態系3地区L=1682.3m 測量設計委託 21地区 用地補償一式	農業用排水施設 1地区 L=24m 農業集落道 1地区 L=50m 自然環境・生態系1地区L=185m 用地補償 一式	農業用排水施設 1地区 L=16m 農業集落道 1地区 L=100m 自然環境・生態系1地区L=80m 測量設計委託 2地区 用地補償 一式
平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度以降計画
農業集落道 1地区 自然環境・生態系1地区 測量設計委託 1地区 用地補償 一式	農業用排水施設1地区 用地補償 一式	農道整備 1地区 農業集落道 1地区 自然環境・生態系1地区	農業用排水施設1地区 農道整備 1地区 農業集落道 1地区 自然環境・生態系1地区 用地補償 一式

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H17~H31)			
	単独	補助	合計
国		388,800	388,800
県		139,185	139,185
地方債		237,070	
辺地債			
過疎債			
合併特例債		237,070	237,070
その他			
一般財源	1,700	12,545	14,245
計	1,700	777,600	779,300

	H24年度 決算(A)	H25年度 計画(B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	24,300	25,120	820	3%増
補正予算額	4,000		---	---
予算合計	28,300	25,120	▲3,180	11%減
国庫補助金	14,000	12,500	▲1,500	11%減
県支出金	5,040	4,500	▲540	11%減
地方債	8,500	7,600	▲900	11%減
その他				
一般財源	522	520	▲2	0%減
支出合計	28,062	25,120	▲2,942	10%減

単位:千円

事務事業コード	743212	事務事業名	農村振興総合整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区分	全体計画 (H17 ~ H31)			平成23年度までの 実施状況			平成24年度 (実績)			平成25年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	農業用排水施設 10地区 農道整備 4地区 農業集落道 4地区 自然環境・生態系 4地区 営農飲雑用水 1地区 市町村創造型整備 1地区			農業用排水施設 8地区L=1712m 農道整備 3地区L=995m 農業集落道 2地区L=1376.6m 自然環境・生態系3地区L=1682.3m 測量設計委託 21地区 用地補償一式			農業用排水施設 1地区 L=24m 農業集落道 1地区 L=50m 自然環境・生態系1地区L=185m 用地補償 一式			農業用排水施設 1地区 L=16m 農業集落道 1地区 L=100m 自然環境・生態系1地区L=80m 測量設計委託 2地区 用地補償 一式			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費	1,700	19,575	21,275	198	19,575	19,773	62		62	120		120	
消耗品費	1,700	19,575	21,275	198	19,575	19,773	62		62	120		120	
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料		84,854	84,854		74,854	74,854					1,000	1,000	
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費		607,164	607,164		345,571	345,571		27,105	27,105		23,000	23,000	
16 原材料費													
17 公有財産購入費		43,408	43,408		34,830	34,830		134	134		1,000	1,000	
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金		22,599	22,599		18,020	18,020		761	761				
23 償還金利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	1,700	777,600	779,300	198	492,850	493,048	62	28,000	28,062	120	25,000	25,120	
財源内訳	国		388,800	388,800		246,425	246,425		14,000	14,000		12,500	12,500
	県		139,185	139,185		87,930	87,930		5,040	5,040		4,500	4,500
	地方債		237,070	237,070		150,570	150,570		8,500	8,500		7,600	7,600
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債		237,070	237,070		150,570	150,570		8,500	8,500		7,600	7,600
	その他												
一般財源	1,700	12,545	14,245	198	7,925	8,123	62	460	522	120	400	520	
計	1,700	777,600	779,300	198	492,850	493,048	62	28,000	28,062	120	25,000	25,120	
補助率	国	—		—		—		—		—		—	
補助基本額	県	—		—		—		—		—		—	

平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	24,300	第1回		第4回 (9月)	4,000	第7回	
補正予算	4,000	第2回		第5回		第8回	
合計	28,300	第3回		第6回			

財務シート

<施設整備・設備整備・道路整備用>

単位:千円

事務事業 コード	743212	事務 事業名	農村振興総合整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区 分	平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度 (計画)			平成29年度以降 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	農業集落道 1地区 自然環境・生態系1地区 測量設計委託 1地区 用地補償 一式			農業用排水施設1地区 用地補償 一式			農道整備 1地区 農業集落道 1地区 自然環境・生態系1地区			農業用排水施設1地区 農道整備 1地区 農業集落道 1地区 自然環境・生態系1地区 用地補償 一式			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費	120		120	100		100	100		100	1,000		1,000	
消耗品費	120		120	100		100	100		100	1,000		1,000	
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料		9,000	9,000										
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費		14,500	14,500		25,000	25,000		25,000	25,000		146,988	146,988	
16 原材料費													
17 公有財産購入費		1,000	1,000								6,444	6,444	
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金		500	500								3,318	3,318	
23 償還金利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	120	25,000	25,120	100	25,000	25,100	100	25,000	25,100	1,000	156,750	157,750	
財源内訳	国		12,500	12,500		12,500	12,500		12,500	12,500		78,375	78,375
	県		4,500	4,500		4,500	4,500		4,500	4,500		28,215	28,215
	地方債		7,600	7,600		7,600	7,600		7,600	7,600		47,600	47,600
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債		7,600	7,600		7,600	7,600		7,600	7,600		47,600	47,600
	その他												
	一般財源	120	400	520	100	400	500	100	400	500	1,000	2,560	3,560
計	120	25,000	25,120	100	25,000	25,100	100	25,000	25,100	1,000	156,750	157,750	
補助率	国												
県													
補助基本額													

事務事業 コード	743212	事務 事業名	農村振興総合整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の機能保全が図られることで、効率的な生産基盤が整備される。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の整備・維持管理は市が行うべき業務であるため、公共関与は妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている	当初計画に基づいて事業を行ってきたが、近年、国の内示額が減少し進捗率が遅延してきている。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	基盤整備が遅れることにより、営農意欲が損なわれ、農業生産が低下する。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	公共事業として適切であり、コスト削減も加味された事業であるため、削減余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計については一部委託を行っているが、事務手続き及び工事に伴う設計管理委託をすべて最小限の職員で行っているため、削減余地はない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	要望箇所及び施設の老朽化の著しい箇所等を地区ごとに抽出し、市全体の緊急順位を勘案したうえで、国への事業採択を要望しているため、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民からの事業に対する早期着工・早期完成の要望が多いが、一部の地権者からの理解が得られず、用地取得に難航している。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	743213	事務事業名	農道・用排水路整備事業	担当部	農林水産部	
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課	
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地第2グループ	
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111	
				内線番号	2423	
予算科目	会計	一般会計				
	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	6 農道及び用排水路整備事業費
				コード	743213	

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

③対象 (誰、何を対象にしているのか)	④意図 (対象をどうしたいのか)	⑤結果 (どんな結果に結びつけるのか)
農業用施設 市民	農業用施設の機能保全 用者の安全確保	利 効率的な生産を行うための、基盤整備が図られる。

番号	路線名等	平成24年度		平成25年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	24耕第1号 国分福島地区三丁目地区	新規	水路改良工事 L=43.3m				
		国分	2,046				
2	24耕第2号 隼人町嘉例川地区	新規	水路整備工事 L=83.0m				
		隼人	788				
3	24耕第3号 隼人町 内 地区	新規	水路整備工事 L=103m				
		隼人	1,186				
4	24耕第4号 国分 川内 地区	新規	水路整備工事 L=37.0m				
		国分	1,197				
5	上ノ 地区	新規	水路整備工事 L=226m				
		横川	2,300				
6	今村 地区	新規	道路改良工事 L=90.4m				
		牧園	2,867				
7	弓場山 地区	新規	調整池土砂除去 V=837m ³				
		福山	6,352				
8	八谷 地区	新規	農道整備L=165m	継続	農道整備L=165m		
		福山	1,888	福山	2,500		
9	木屋原 地区	新規	農道整備L=142m				
		溝辺	2,572				
10	本戸 地区			新規	水路整備工事 L=120m		
				国分	2,000		

<地区別>

継続 = 0 新規 = 13 継続 = 1 新規 = 8

		H 24	H 25	<全体事業費>	平成24年度決算(A)	平成25年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)																												
国分	3	1	事業費	91,501	43,963	▲ 47,538																													
溝辺	1	1	事務費			0																													
横川	2	1	合計	14路線 91,501	9路線 43,963	▲ 5 路線 ▲ 47,538																													
牧園	1		<財源内訳> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度決算(A)</th> <th>平成25年度計画(B)</th> <th>前年度比較(B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫補助金</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>91,501</td> <td>43,963</td> <td>▲ 47,538</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>91,501</td> <td>43,963</td> <td>▲ 47,538</td> </tr> </tbody> </table>						平成24年度決算(A)	平成25年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)	国庫補助金			0	県支出金			0	地方債			0	その他			0	一般財源	91,501	43,963	▲ 47,538	合計	91,501	43,963	▲ 47,538
	平成24年度決算(A)	平成25年度計画(B)						前年度比較(B)-(A)																											
国庫補助金								0																											
県支出金								0																											
地方債								0																											
その他			0																																
一般財源	91,501	43,963	▲ 47,538																																
合計	91,501	43,963	▲ 47,538																																
霧島		1																																	
隼人	3	2																																	
福山	2	1																																	
合計	12	7																																	

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 施設の利用者から、農業用施設の未整備箇所や老朽化による修繕要望が多く寄せられている。	② この事務事業に対する議会から出された意見
---	------------------------

番号	路線名等	平成24年度		平成25年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
11	羽田 地区			新規	水路補修 L=140m		
				横川	2,400		
12	竹子前原 地区			新規	農道整備 L=200m		
				溝辺	2,500		
13	住吉 地区			新規	農道改修 L=60m		
				隼人	3,400		
14	松永 地区			新規	水路改修 L=20m		
				隼人	2,800		
15	狭名田 地区			新規	農道改修 L=330m		
				霧島	2,200		
16	市内一円		高速道・農道橋投物防止・剥離防 止事業委託				
			13,933				
17	横川中ノ井手原地区	新規	農地防災事業事業計画書作成				
		横川	3,885				
18	隼人朝日地区	新規	ため池漏水箇所調査委託				
		隼人	1,470				
19	市内一円	新規	農業用施設修繕等				
		国分	35,985				
20	市内一円	新規	農道水路維持委託				
			15,032				
21	市内一円			新規	農業用施設修繕等		
					16,000		
22	市内一円			新規	農道水路維持委託		
					10,163		
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							

事務事業 コード	743213	事務 事業名	農道・用排水路整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	修繕や改良を行うことで、農業用施設の機能が向上し、効率的な生産基盤が整備される。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設は市が保有する施設であり、農業を行うために必要な施設であることから、修繕・整備等を市で行わなければならない。
B 有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	農家や地元住民の負担が大きくなり、安定した営農が出来なくなる。
C 効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	最小限の費用で最大限の成果をだしているため、削減余地はない。
	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	苦情処理や要望への対応、さらに事業の設計や事業費の積算等を最小限の人員で遂行しているため、削減余地はない。
D 公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内全域での要望箇所及び施設の老朽化等を勘案し、緊急順位を決めて事業を実施しているので、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路や用排水路等の緊急性や必要性のある農業用施設の整備を行い、機能向上が図られた。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地第2グループ
基本事業名	7	観光農林漁業の推進		電話番号	45-5111
				内線番号	2423
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 25 年度
	款	6	農林水産業費		
	項	1	農業費	根拠法令・ 条例等	なし
	目	5	農地費		
	コード	743125			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
霧島の玄関口として、体験農園や観光農園を利用できる日常的な緑とのふれあい空間の整備の一環とし、平成12年度から緑地公園整備として県営中山間地域総合整備事業(KAM霧島南部地区)で計画し、事業の実施を行ってきた。緑地公園が完成することにより、スポーツ・レクリエーションを通し地域住民と都市との交流促進が図られることから、公園整備を行う。	野球・サッカー等の地域スポーツ協議会関係者から「チーム数が多い中で練習場が少ない」「霧島市圏で県大会レベル以上の大会を一箇所で開催できる様な運動公園を」との要望がある。また、地域住民の憩いの場として、早期完成が望まれている。	

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 市民	緑地公園として利用する	農林水産業を観光資源として利用する
イ		

全体計画 (H17~H25)	平成23年度までの実施状況	平成24年度実績	平成25年度計画
春山緑地公園整備 実施設計委託 敷地造成整備 園路広場整備 運動施設整備 便益施設整備 修景施設整備 サブグラウンド整備	グラウンド整備(約2/3) サブグラウンド用地買収	管理施設整備(フェンス等) グラウンド整備(1/3) 便益施設整備(トイレ等)	サブグラウンド整備 集景施設整備
平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度以降計画

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H17~H25)			
	単独	補助	合計
国			
県			
地方債	597,600		
辺地債			
過疎債			
合併特例債	597,600		597,600
その他			
一般財源	39,881		39,881
計	637,481		637,481

	H24年度 決算(A)	H25年度 計画(B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	182,000	150,000	▲ 32,000	18% 減
補正予算額	5,000		---	---
予算合計	187,000	150,000	▲ 37,000	20% 減
国庫補助金				
県支出金				
地方債	172,800	142,500	▲ 30,300	18% 減
その他				
一般財源	14,121	7,500	▲ 6,621	47% 減
支出合計	186,921	150,000	▲ 36,921	20% 減

単位:千円

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区分	全体計画 (H17 ~ H25)			平成23年度までの 実施状況			平成24年度 (実績)			平成25年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	春山緑地公園整備 実施設計委託 敷地造成整備 園路広場整備 運動施設整備 便益施設整備 修景施設整備 サブグラウンド整備			グラウンド整備(約2/3) サブグラウンド用地買収			管理施設整備(フェンス等) グラウンド整備(1/3) 便益施設整備(トイレ等)			サブグラウンド整備 集景施設整備			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費	1,278		1,278	294		294	984		984				
消耗品費	1,278		1,278	294		294	984		984				
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	4,788		4,788	4,788		4,788							
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	608,700		608,700	276,700		276,700	182,000		182,000	150,000		150,000	
16 原材料費													
17 公有財産購入費	15,876		15,876	15,876		15,876							
18 備品購入費	6,839		6,839	2,902		2,902	3,937		3,937				
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金													
23 償還金・利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	637,481		637,481	300,560		300,560	186,921		186,921	150,000		150,000	
財源内訳	国												
	県												
	地方債	597,600		597,600	282,300		282,300	172,800		172,800	142,500	142,500	
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債	597,600		597,600	282,300		282,300	172,800		172,800	142,500	142,500	
	その他												
一般財源	39,881		39,881	18,260		18,260	14,121		14,121	7,500		7,500	
計	637,481		637,481	300,560		300,560	186,921		186,921	150,000		150,000	
補助率	国	—		—									
	県	—		—									
補助基本額		—		—									

平成24年度予算の状況

当初予算	182,000
補正予算	5,000
合計	187,000

<補正予算内訳>

第1回 (12月)	5,000	第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

単位:千円

単位:千円

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区 分	平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度 (計画)			平成29年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量												
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料												
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費												
16 原材料費												
17 公有財産購入費												
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金												
23 償還金利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計												
財源内訳	国											
	県											
	地方債											
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債											
	その他											
一般財源												
計												
補助率	国											
	県											
補助基本額												

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公園整備を行う事により、都市との交流が促進され、観光農園の来客数も増えることから、農林漁業を観光資源として利用することに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業農村地域の活性化を図るため、都市との交流基盤施設である公園整備を市が行う必要がある。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	地元住民及び関係市民から、早期完成が望まれている。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	交流基盤整備である公園整備であることから、廃止すれば農業農村地域の活性化に影響がある。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	盛土材に他工事による発生土を利用するなど、最大限のコスト削減に取り組んでいることから、以降削減の余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員が行う設計積算業務等、最小限の人員で行っており、削減余地はない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	すべての市民が利用できることから、受益機会は均等であり、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	24年度から一部供用を開始している。市民からの早期完成が望まれていることから、今後も完成年度を目標に整備を進めていく。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	743116	事務事業名	中山間ふるさと・水と土保全基金管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		グループ	管理グループ
施策名	1	農・林・水産業の振興		電話番号	45-5111
基本事業名	2	生産基盤の整備		内線番号	2411
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 5 年度~)
	項	1	農業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	農地費	根拠法令・条例等	霧島市中山間ふるさと・水と土保全基金条例
	コード	743116			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
中山間地域で土地改良施設(農道及び用排水路等)の機能を適正に発揮していくための集落共同活動を支援するため、基金を設立。基金を運用して基金利益で清掃活動や環境保全の研修等の経費や基金運用に必要な経費に充てる。			なし			
			平成25年度計画			
		中山間地域土地改良施設の清掃活動・環境保全研修				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	活動回数	回	0	0	1	1
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	集落共同活動団体	団体数	未把握	未把握	未把握	未把握
イ	農地	農地面積	8,400	8,400	8,400	8,400
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	農業用施設の能力が適正に発揮される	参加人員	0	0	30	30
イ	市民等の環境保全に対する意識を高める	対象農地面積	0	0	5	5
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	効率的な生産を行なう基盤が整う	農業生産基盤の整備率	52.5	52.8	***	***
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額	当初予算額	182
	補正予算	30
	予算合計	212
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	212
	一般財源	0
支出合計	212	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
土地改良施設(農道及び用排水路)の機能を適正に発揮させるための集落共同活動を支援するため設置された。旧市町で設置時期が異なるが平成5、6年からである。	低金利状態が長く続いたため財源が確保できず、運用益があらなくなった。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特になし	特になし

事務事業コード	743116	事務事業名	中山間ふるさと・水と土保全基金管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金	212		212	145		145			
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	212		212	145		145			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	212		212	145		145		
一般財源									
計	212		212	145		145			

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成24年度	当初予算	182千円		
	補正予算	30千円		
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	30
予算合計	212千円			

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳	
基金利息	
参加費等の事業実施のための収入説明	
第9回(3月) = 38千円	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	細かな手入れにより農業用施設の機能が適正に発揮され、効果的な生産を行なうことができ生産基盤の機能確保の上で政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の保全、耕作放棄の増加や農業従事者の高齢化により施設の維持管理が難しくなっており、市が支援することは妥当。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	中山間地域において耕作放棄地や高齢化が顕著であるため対象・意図については妥当。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	金利動向により運用益があがるので、現在においては成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	高齢化が益々進むと思われ、集落の維持管理が難しくなるため必要な事業。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在の基金運用益が少ないため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	活動支援のための最低限の経理的な事務だけしか行っていない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	現在は活動支援を行なえない状況にある。支援可能になった場合の該当地区の検討が必要となる。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある		金利動向によって運用益に変動があるので現状維持しながら活用策を見出していきたい。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	743127	事務事業名	農地・水保全管理支払交付金事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	管理グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2412
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度~)
	項	1	農業費	根拠法令・条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(H24 ~ H28)
	目	5	農地費		農地・水保全管理支払交付金実施要綱(国)
コード	743127				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)						
<p>農地、農業用水等の資源は、地域共同の活動により保全管理されてきたが、近年の集落機能の低下により、適切な保全管理が困難となっている。このため、「農地・水保全管理支払交付金」による地域共同による農地・農業用水等の資源や農村環境の保全活動に対する支援をすることで、集落を支える体制を強化し継続するとともに、農地周りの農業用排水路等施設の長寿命化や水質・土壌等の保全を図る。</p> <p><共同活動支援交付金>(国50%、県25%、市25%)</p> <p>①農地、水路等の基礎的な保全管理活動(水路の草刈り、泥上げ、農道の砂利補充など)</p> <p>②農村環境の保全のための活動(生物多様性、景観形成など)</p> <p><向上活動支援交付金>(国50%、県25%、市25%)</p> <p>①施設の長寿命化のための活動(農業用排水路等の補修・更新など)</p> <p>②農地・水・環境保全組織の取組(組織の設立、地域資源保全プランの策定など)</p>						
補助金・負担金の交付先	鹿児島県水土里サークル活動支援協議会		補助金の対象経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	共同活動を行っている組織数	団体	14	11	15	15
イ	向上活動を行っている組織数	団体	4	4	4	4
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	農地面積	ha	8,400	8,400	8,400	8,400
イ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	農地が保全される	ha	1,120.8	1,199.0	1,392.8	1,392.8
イ	施設が保全・更新される	箇所	5	8	3	3
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	効率的な生産を行う基盤が整う	%	52.5	52.8	***	***
イ						

(2)事業費 単位：千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
当初予算額	1,525	11,322
補正予算	8,339	
予算合計	9,864	11,322
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	9,864	
支出合計	9,864	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
平成19年度から「農地・水・環境保全向上対策」により、地域共同による保全活動を行っていた。平成23年度見直され、平成24～28年度の5年、仕組みが簡素化され継続された。	事業を行うことで、地域で定期的に水路等の草刈りや景観形成植物(コスモス・レンゲ)の植栽、農業用排水路の補修が行われ、地域の保全活動意欲が高まっている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
農地・水保全管理支払交付金の事業を受けるためにはきめ細かい作業(確認作業・書類作成)が必要となり、組織から簡素化を求められている。	特になし。

事務事業 コード	743127	事務 事業名	農地・水保全管理支払交付金事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
計										補助金負担金合計		補助金負担金合計		補助金負担金合計	
										自主財源合計		自主財源合計		自主財源合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1	鹿児島県水士里サークル活動支援協議会	負担金額	9,864	11,322	11,322				●
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
合計			9,864	11,322	11,322				1

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	1,525
補正予算	8,339
合計	9,864

第1回		第4回		第7回	
第2回	(6月)	10,769	第5回		第8回
第3回			第6回		(3月)
▲ 2,430					

事務事業コード	743127	事務事業名	農地・水保管理支払交付金事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域共同による農地・農業用水路等の資源や農村環境の保全活動に対する支援をすることで、集落を支える体制を強化・継続するとともに、施設の長寿命化や水質・土壌の保全が図れている。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	近年の集落機能の低下による農地・水路の荒廃を防ぐため、地域共同による農地、水路等の保全活動を行う活動、農業用施設の長寿命化に関する費用を市が支援することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	「農地・施設の保全すること」が農地の効率的な生産を行う基盤を整えることにつながることから、対象や意図については妥当。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	組織において自分たちで活動内容を計画・実行したり、施設の見積・修繕などを行うことから、成果指標以上の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	農地・施設の保全を行うことで、農地の効率的な生産を行う基盤を整えることにつながっているため、休止・廃止した場合は耕作放棄地や手入れされていない水路が増える可能性がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 中山間地域等直接支払事業(国の事業)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	国の要綱による負担割合のため削減することができない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	市で活動に関する助言や指導、提出された申請書等の審査等があることから削減することができない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	取り組みを行おうとする組織の構成員は農家・非農家に関係なく、地域の人を対象としていることから、集落を支える方全員が取り組みができるため公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(2) 全体総括(振り返り、反省点) この事業は国の要綱に沿った事業である。中山間地域等直接支払事業の条件に該当しない組織はこの事業を選択しているようである。組織自らが計画・実行することから地域の保全活動が活発になっている。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	743127	事務事業名	農地・水保全管理支払交付金事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

4. 2次評価

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
 - 一部記述不足のところがある
 - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
 - 一部に客観性を欠いたところがある
 - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

(3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	⑥両事業は重複して補助対象となることができるが、現状以上の連携は難しい。
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑥の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続

(5) 具体的な改善計画 * (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成26年度に取り組むべき具体的な内容	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容